

# 七高SSH通信

R2・3・31  
石川県立七尾高等学校  
SSH推進室 第18号

## 探究Ⅰ（第1学年）

### 「2030年の能登の人口を推定する」（2月26日）

本校視聴覚教室において、1年生の探究Ⅰで行っている「2030年の能登の人口の推定」についてのユニットの代表発表会を行いました。これは国勢調査の長期統計の結果をもとに、2030年の能登の人口の推定を行いました。1月に行った事前学習では、現在の能登の人口が19万人であり、石川県の17%だと知り、驚いていました。

発表会では、各グループがそれぞれ工夫した方法で推定した人口を発表しました。生徒たちは、実際に、自分の手で想定することで、本当に減っていているということを実感しました。

## スーパーサイエンス教室

1月26日(日)と2月23日(日)に、いしかわこども交流センター七尾館で、小学生を対象に「スーパーサイエンス教室」が行われました。

1月は<大道仮説実験しゅぽ↑しゅぽ↓>で、2月は『空飛ぶタネ』を行いました。<大道仮説実験しゅぽ↑しゅぽ↓>では、真空にすると、どんなことが起こるかということ、予想を立てて実験をしていきました。真空にすると、↓マシュマロやビールが予想外の変化をし、とても楽しい実験でした。真空と空気の粒のイメージを作りました。『空飛ぶタネ』では、まず移動できない植物が、風や動物の助けを借りて、タネを拡げる仕組みを聞きました。その後、グライダーのように滑空する「アルソミトラ」のタネの模型や、クルクル回りながら落ちる「フタバガキ」のタネの模型を作りました。どの子も、一生懸命遠くまで飛ばすように、よく回るように工夫して取り組んでいました。



大道仮説実験

<しゅぽ↑しゅぽ↓>



『空飛ぶタネ』

12H



13H



14H



15H



16H



七尾高校が舞台になっている「君は放課後インソムニア」という漫画があります。特に中心となっている天文ドームについて、12月14日に、発行元の小学館の方が取材に本校に来られました。SSCの12H 荒邦さん、15H 小倉さん、16H 畝さん、中山くんが、実際にドームや望遠鏡の操作をして見せたり、取材に対応しました。

後日、作者のオジロマコトさんの色紙が学校に届きました。図書館に展示してあります。

